



サーバーレス認証連携キット (本体認証版)

取扱説明書

- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触 IC カードの技術方式です。
FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Active Directory、Excel、および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。
Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

Xerox、Xerox ロゴ、Fuji Xerox ロゴ、および CentreWare は、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。
ApeosPort、ApeosWare、および Smart WelcomEyes は、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書には、サーバーレス認証連携キット（本体認証版）（以降、「本キット」と呼びます）に含まれる各機能の操作方法、および使用上の注意事項について記載しています。本キットのご使用にあたっては、必ず本書をお読みください。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピューターや、機械の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。

お使いのパーソナルコンピューターの基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピューターに付属の説明書をお読みください。お使いの機械の操作方法については、機械に同梱されているマニュアルをご覧ください。

富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

本書の使い方

本書は、お使いの機械に本キットをインストールしたうえで、ユーザーが機能を使用する方法や、管理者が各機能を設定する方法などについて記載しています。

本書の構成

本書の構成は、次のとおりです。

1 サーバーレス認証連携キット（本体認証版）について

本キットの機能の概要を説明しています。

2 プラグイン設定（管理者向け）

プラグインの設定画面で設定できる内容について説明しています。

3 ユーザーの操作（一般ユーザー向け）

一般ユーザーが利用できる本キットの機能について説明しています。

4 エラー対処

エラーメッセージが表示された場合の対処方法を説明しています。

5 バージョンアップについて

Management Console を使って、本アプリケーションをバージョンアップ（アップデート）する方法を説明しています。

6 注意 / 制限事項

本キットを利用する上で読みいただきたい注意 / 制限事項を記載しています。

本書の表記

- 機械のソフトウェアのバージョンによって、本書に記載している画面が、お使いの機械と異なる場合があります。
- お使いの機械の構成によっては、画面に表示されない項目や使用できない機能があります。
- 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。



注記

注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。



補足

補足事項を記述しています。



参照

参照先を記述しています。

- 本文中では、次の記号を使用しています。

「 」	・本書内にある参照先を表しています。 ・機能の名称やタッチパネルディスプレイのメッセージ、入力文字列などを表しています。
『 』	・参照するマニュアルを表しています。
[]	・機械のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。 ・コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
{ }	・操作や動作環境によって変わる値を表しています。 例：[{ログインユーザー名}] が表示されます。
< > ボタン	・機械の操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。
< > キー	・コンピューターのキーボード上のキーを表しています。
>	・機械の操作パネルで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。 例：「[仕様設定 / 登録] > [登録 / 変更] > [ボックス登録] を選択します。」は、「[仕様設定 / 登録] を押して、[登録 / 変更] を押したあと、[ボックス登録] を選択します。」という手順を省略して記載したものです。 ・コンピューターで順に項目をクリックする手順を、省略して表しています。 例：「[スタート] > [検索] > [他のコンピュータ] で検索します。」は、「[スタート] ボタンをクリックして、[検索]、[他のコンピュータ] を順にクリックして検索します。」という手順を省略して記載したものです。 ・参照先は、次のように表しています。 例：『管理者ガイド』の「5 仕様設定」>「共通設定」>「音の設定」を参照してください。」は、管理者ガイドの「5 章 仕様設定」内の、「共通設定」での「音の設定」を参照することを表しています。

もくじ

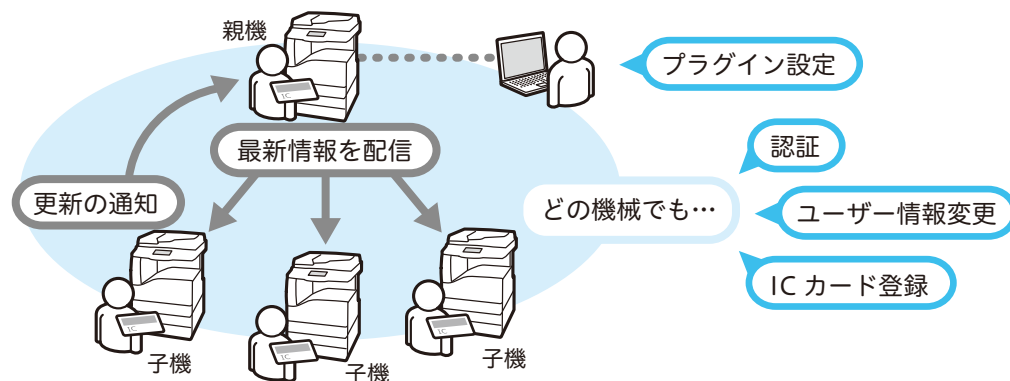
はじめに	3
本書の使い方	4
1 サーバーレス認証連携キット（本体認証版）について	7
機能の概要	7
動作環境	9
2 プラグイン設定（管理者向け）	10
機械管理者情報の設定	10
プラグイン設定画面の表示	12
複合機の登録	13
ユーザー情報の登録	16
環境設定	21
動作ログ取得について	23
3 ユーザーの操作（一般ユーザー向け）	24
認証の手順	24
自分のユーザー情報を編集する	24
IC カードを登録する	26
4 エラー対処	27
プラグイン設定画面のエラー	27
IC カード登録ツールのエラー	27
ユーザー情報変更ツールのエラー	29
5 バージョンアップについて	31
6 注意 / 制限事項	32

1 サーバーレス認証連携キット（本体認証版）について

本キットは、複数の機械でユーザー情報を共有するためのソフトウェアです。

本キットを利用する機械は、「親機」-「子機」の関係を構築します。親機は、親機自身の持つユーザー情報が編集されたとき、および、子機から更新情報を通知されたときに、親機自身の本体認証用のユーザー情報データベースを更新します。データベースを更新後、機械管理者が設定した時間になると、最新情報をすべての子機に配信します。子機はこれを受けて、子機自身のデータベースも最新情報に更新します。

このしくみにより、サーバーレスの環境で、どの機械からでも、認証やユーザー情報の編集、ICカードの登録ができます。



補足

- ・親機、およびすべての子機のデータベースが最新情報に更新されると、登録した以外の機械で認証したり、ユーザー情報を編集したりできるようになります。
- ・本機能を利用できる機種については、弊社公式サイトをご覧ください。

機能の概要

本キットをインストールすると、次の機能を利用できます。

プラグイン設定

機械管理者は、プラグイン設定画面を利用することで、機械情報 / ユーザー情報の一括管理や運用管理の設定ができます。

参照

詳しくは、「2 プラグイン設定（管理者向け）」(P.10) を参照してください。

ユーザー情報変更ツール

ユーザーは、ログイン後に、自分のユーザー名やメールアドレスなどの情報を、機械の操作パネルから簡単に変更することができます。

参照

詳しくは、「自分のユーザー情報を編集する」(P.24) を参照してください。

IC カード登録

ユーザーは、機械の操作パネルから簡単に、未登録の IC カードとユーザー情報とを関連付けて登録できます。本体管理のユーザー情報だけでなく、Active Directory® サーバーの認証情報も利用できます。

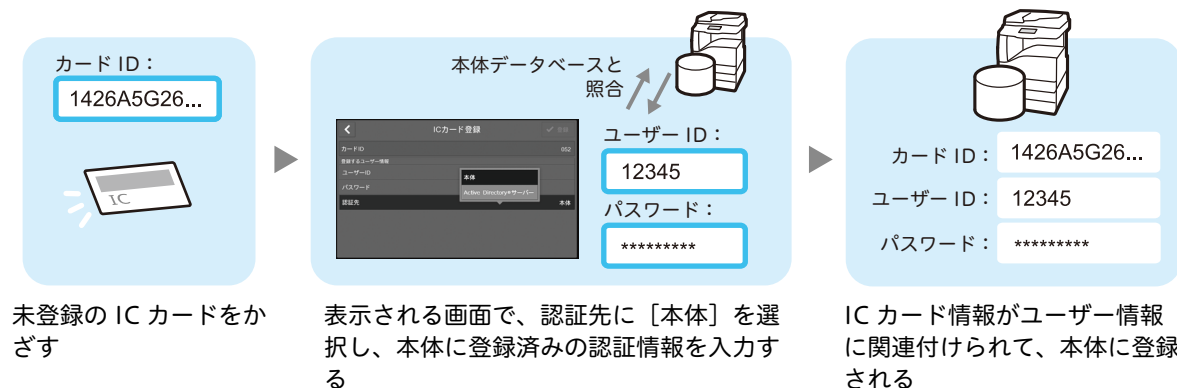


参照

詳しくは、「IC カードを登録する」(P.26) を参照してください。

本体管理のユーザー情報と IC カード情報を関連付ける

管理者は IC カードを配布するだけでよくなるため、管理者の作業を軽減できます。



Active Directory サーバーの認証情報と IC カード情報を関連付ける

Active Directory の認証情報と IC カード情報との関連付けを機械に保存できます。このため、Active Directory のシステム管理者と、複合機の管理者が異なる場合でも、簡単に IC カードの情報を更新できます。



注記

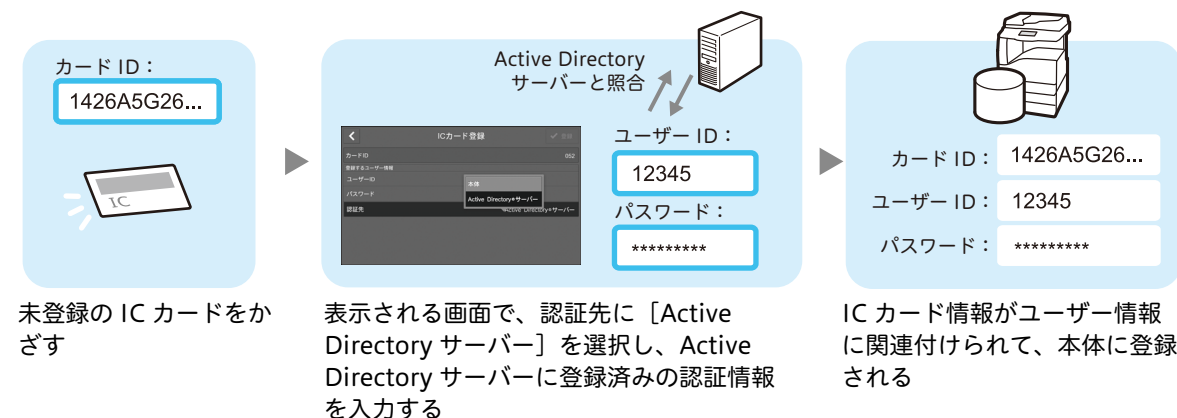
本機能を利用すると、Active Directory サーバーに保存された認証情報が複合機本体に複製保存されます。

複合機本体からの情報漏えいを抑止するため、データセキュリティキット（オプション）の導入によるデータの暗号化を推奨します。



補足

この機能は、ApeosPort シリーズでだけ利用できます。



動作環境

サーバーレス認証連携キット（本体認証版）は、次の環境で動作します。

お使いの機械の環境が条件を満たしていない場合は、必要なオプションを増設してください。

- 内蔵ハードディスク搭載機
- システムメモリー 2 GB 以上搭載機
- プリンターキット搭載機



ソリッドステートドライブを装着した機械をお使いの場合、「ハードディスク」は、「ソリッドステートドライブ」と読み替えてください。

お使いの機械が、内蔵ハードディスク、およびシステムメモリーの条件を満たしているかを確認する手順は、次のとおりです。



・本書で記載している画面は、お使いの機種によって異なることがあります。設定方法の詳細は、お使いの複合機のマニュアルを参照してください。

操作手順

- 1 [設定] > [機械確認 / レポート] を押します。
- 2 [機械構成] を押します。
- 3 [ストレージ] の項目が表示されていることと、[システムメモリーサイズ] の項目が 2,048 MB 以上であることを確認します。
- 4 ホーム画面に戻ります。

2 プラグイン設定（管理者向け）

機械管理者情報の設定

IC カード登録に、機械管理者の情報を設定します。親機とその子機すべての複合機で設定する必要があります。

本体の仕様設定画面で機械管理者 ID、機械管理者パスワードを変更した場合は、本機能の設定も速やかに変更してください。本機能が正常に動作しくなくなります。



補足

・本書で記載している画面は、お使いの機種によって異なることがあります。



注記

- ・ Active Directory サーバーには、ユーザーの ID、パスワードが設定されている前提で運用してください。
- ・ Active Directory サーバーにユーザー情報が登録される前に本機能を使用しても、IC カード登録はできません。

操作手順

- 1 複合機の設定に従い、機械管理者で認証します。
- 2 [IC カード登録] を起動します。
- 3 [機械管理者 ID]、[機械管理者パスワード] に、本体の仕様設定と同じ値を入力して、[次へ] を押します。

- 4 次の操作をします。
 - (1) 運用する構成に合わせて、[認証先] を選択します。



補足

一部の機種では、[認証先設定] で該当する認証方法にチェックマークを付けます。

- (2) [標準認証先] で、ユーザーが IC カード登録するときに標準で表示する認証先を選択します。



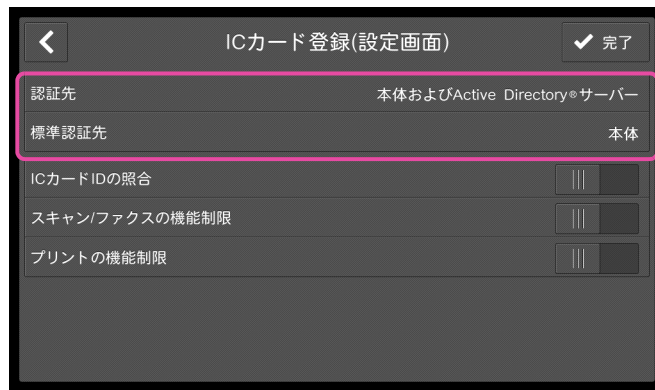
注記

[Active Directory (R) サーバー] は、外部認証に対応していない複合機では表示されません。



補足

[本体] と [Active Directory (R) サーバー] を併用する場合は、利用人数が多い認証先を標準認証先に設定することをお勧めします。



補足

一部の機種では、[次へ] を押すと、手順 5 の画面が表示されます。

5 次の操作をします。

(1) [IC カード ID の照合] にチェックマークを付けます。



補足

一部の機種では [IC カードの設定] で [照合する] にチェックマークを付けます。



注記

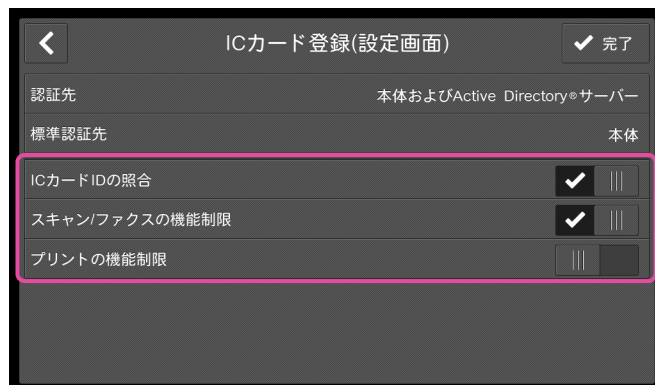
- ・ IC カード ID を照合する設定にしていると正常に動作しません。本機能を使用するときは、必ず照合する設定にしてください。
- ・ 本機能を停止する場合は、IC カード ID を照合する設定を解除してから停止してください。

(2) ユーザーにサービスの利用制限を設定する場合は、制限したい機能にチェックマークを付けます。



補足

利用制限を設定する場合は、機械の [仕様設定 / 登録] > [認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [アクセス制御] > [サービスへのアクセス] で、各サービスへのアクセスも [制限する] に設定してください。



6 画面の指示に従って、機械を再起動します。

プラグイン設定画面の表示

プラグイン設定画面の表示方法は、次のとおりです。



プラグイン設定は、親機または親機にする予定の機械から実施してください。

操作手順

- 1 コンピューターを起動し、Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス欄に、お使いの複合機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力します。
CentreWare Internet Services が起動します。
- 3 機械管理者 ID（必要に応じてパスワード）を入力し、機械管理者モードになります。
- 4 次の操作をします。
 - (1) [システム] > [プラグイン設定] をクリックします。
 - (2) [組み込みプラグイン] で [Server-less Authentication Kit (Local Authentication Edition)-Revision {リビジョン情報}] を選択します。
 - (3) [表示] をクリックします。



・本書で記載している画面は、お使いの機種によって異なることがあります。設定方法の詳細は、お使いの複合機のマニュアルを参照してください。

プラグイン設定画面が表示されます。

複合機の登録

〔複合機の登録〕では、本キットを利用している機械の一覧が表示され、機械の登録や削除、権限の変更などの操作ができます。

新規登録

機械を新しく登録する手順を説明します。

操作手順

1 〔新規登録〕をクリックします。

2 〔新規登録〕画面で、登録する子機の情報を入力し、〔登録〕をクリックします。



補足

- ・セキュリティのため、〔SSL 通信〕は〔有効〕で運用することをお勧めします。
- ・最初の一台を登録する場合でも、登録の操作をしている機械が親機として登録されるため、ここでは子機にする予定の機械の情報を入力します。



参照

〔新規登録〕画面の設定項目については、「〔新規登録〕画面の設定項目」（P.15）を参照してください。

3 登録が成功して一覧に表示されたら、[権限]を設定します。



補足

登録直後は、自動的に[子機]に設定されます。変更の必要がない場合は、この手順は不要です。

● 権限

それぞれの機械の権限（役割）を設定します。通信の中心となる 1 台を[親機]に、そのほかの機械を[子機]または[子機（代行権限あり）]に設定します。子機と子機（代行権限あり）は、合わせて 49 台まで登録できます。



注記

- ・子機を直接親機に変更することはできないため、親機と子機だけの状態で親機が通信できなくなると、子機の権限を変更できなくなります。このため、最低でも 1 台は子機（代行権限あり）に設定してください。
- ・親機として利用する機械を変更するには、次に親機にする機械（権限は[子機（代行権限あり）]に設定する）からプラグイン設定画面を開き、自身の権限を[親機]に変更してください。このとき、親機だった機械の権限は自動的に[子機（代行権限あり）]に変更されます。

親機と子機（子機（代行権限あり）を含む）は、次のように通信を行います。

- (1) 親機でユーザー情報が変更された場合、親機は自分のデータベースを更新後、更新情報をすべての子機に配信します。
- (2) 子機でユーザー情報が変更された場合、更新情報は親機に通知され、親機のデータベースが更新されます。その後、親機はすべての子機に更新情報を配信します。



注記

- ・親機の電源が入っていない場合、変更があった子機自身を含め、すべての機械に変更情報が反映されません。
- ・親機が子機に更新情報を配信するとき、電源が入っていない子機には、変更が反映されません。この場合、3) の通信のタイミングで変更が反映されます。

- (3) 親機と子機が最後に通信してから一定の時間が経ったとき、または、子機の電源を入れたり、スリープモードを解除したりしたとき、子機は親機に通信して、更新情報がないか問い合わせます。更新情報があれば、親機は、問い合わせにきた子機だけに更新情報を配信します。

● 子機（代行権限あり）について

子機（代行権限あり）は、(3) の通信で親機が応答できない場合、親機の代わりに子機からの通信を受け、更新情報を配信できます。そのほかの場合は、子機と同様に動作します。



参照

親機と子機が定期的に通信する間隔は、プラグインで設定できます。詳しくは、「ユーザー情報の自動配信設定」(P.22) を参照してください。



補足

子機からの通信に応答するため、親機と子機（代行権限あり）は、なるべく電源を切らないようにしてください。

4 複数の機械を登録する場合は、手順 1 ～ 3 を繰り返します。

5 [新しい設定を適用] をクリックします。

登録の削除

登録されている機械をグループから削除する手順を説明します。



注記

- ・グループから削除しても、削除された機械から、共有していたユーザー情報は消去されません。
- ・グループに登録されている機械が親機と子機（または親機と子機（代行権限あり））の 2 台だけの場合、子機（または子機（代行権限あり））を削除すると、親機も削除されます。

操作手順

1 削除したい機械の [] をクリックします。



2 確認画面で [はい] をクリックします。

[新規登録] 画面の設定項目

[新規登録] 画面の設定項目は、次のとおりです。



補足

- ・*1: [登録する複合機の情報] で [IPv4 を使用して登録] を選択した場合に設定します。
- ・*2: [登録する複合機の情報] で [URL を使用して登録] を選択した場合に設定します。

子機を識別するための情報の選択

子機の登録方法を、次から選択します。

- IPv4 を使用して登録
- URL を使用して登録



補足

本キットは IPv4 環境でだけ利用できます。

SSL 通信 *1

登録する機械との通信に SSL を使用するかどうかを設定します。



補足

SSL 通信を使用する場合、あらかじめ機械に証明書を設定しておく必要があります。設定の手順については、機械に同梱のマニュアルを参照してください。



注記

サーバレス認証キットのグループを組んだ後に SSL 有効無効を変えないでください。正しく通信できなくなります。変更する場合は、一度対象機をグループから抜き、設定変更後にもう一度グループへ加入させる必要があります。

IP アドレス *1

登録する機械の IP アドレスを入力します。

ポート番号 *1

登録する機械との通信に使用するポート番号を入力します。

URL*2

登録する機械の URL を入力します。



補足

ここで入力する URL とは、本キットのプラグイン設定画面にアクセスした直後に、Web ブラウザーのアドレス欄に表示される文字列のことです。ただし、「/admin」以下は削除してください。

機械管理者 ID

登録する機械の機械管理者 ID を入力します。

機械管理者パスワード

登録する機械の機械管理者パスワードを入力します。

ユーザー情報の登録

〔ユーザー情報の登録〕では、ユーザー情報の一覧ファイルをインポート / エクスポートすることで、大量のユーザー情報を一括で管理できます。

ユーザー情報の編集には、本キット専用の「ユーザー情報設定ツール」を使用します。ユーザー情報設定ツールを利用すると、簡単な操作で、xml 形式のユーザー情報ファイルの読み込み、編集、保存ができます。



補足

- ・本キットを利用する機械のユーザー情報は、ユーザー情報設定ツールを使用して登録してください。機械にログインして本体認証ユーザーを登録しても本キットには反映されないため、配信処理で上書きされます。
- ・この操作の前に、本キットを利用する機械を登録しておく必要があります。



参照

機械の登録 → 「新規登録」（P.13）

ユーザー情報の一括設定

ユーザー情報を一括で編集 / 登録する手順を、次の流れで説明します。

<Step1> ユーザー情報設定ツールをダウンロードする

操作手順

- 1 [ユーザー情報設定ツールのダウンロード] で、ツールの言語を選択し、[ダウンロード] をクリックします。



- 2 ダウンロードしたユーザー情報設定ツールを、コンピューターの任意の場所に保存します。



補足

ユーザー情報設定ツールは、xlsm 形式です。ほかのファイル形式に変更しないでください。

<Step2> 登録済みのユーザー情報をエクスポートする



補足

ユーザー情報を一件も登録していない場合は、この手順は不要です。また、登録済みの内容を編集する必要がない場合は、この手順を省略しても、[ユーザー情報の追加] から追加情報だけを登録できます。エクスポートされるユーザー情報は、本ツールに登録されているユーザー情報です。エクスポートのタイミングによっては、機械の本体認証用ユーザー情報データベースと異なる場合があります。

操作手順

- 1 [すべてのユーザー情報の取得] の [エクスポート] をクリックし、xml 形式のユーザー情報ファイルを、コンピューターの任意の場所に保存します。



<Step3> ユーザー情報を一括編集する

操作手順

1 ユーザー情報設定ツールを、Microsoft® Excel® で開きます。



補足

- ・ユーザー情報設定ツールを開く前に、Microsoft® Excel® のマクロ機能を有効にしてください。
- ・本マニュアルでは、Microsoft® Excel® 2013 を使用して説明しています。お使いのバージョンによっては、表示される画面が異なる場合があります。

2 [インポート] をクリックし、保存したユーザー情報ファイル（xml形式）を開きます。



補足

ユーザー情報を 1 件も登録していない場合、この手順は不要です。また、登録済みの内容を編集する必要がない場合は、この手順を省略しても、[ユーザー情報の追加] から追加情報だけを登録できます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										

3 ユーザー情報を編集します。



補足

- ・入力内容が条件を満たさない場合、ダイアログボックスが表示され、問題がある場所と入力内容が通知されます。たとえば、「[F10] user+」と表示された場合、F10 のセルに入力されている「user+」という値に問題があります。このとき、該当のセルは黄色になります。
- ・登録できるユーザーの数は、999 件までです。
- ・半角スペースだけのパスワードは、入力しないでください。



参照

「ユーザー情報設定ツールの入力項目」（P.20）

4 [エクスポート] をクリックして、編集したユーザー情報ファイルをコンピューターの任意の場所に保存します。



補足

自動的に xml 形式で保存されます。ほかのファイル形式に変更しないでください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										

<Step4> ユーザー情報を登録する

操作手順

- 1 [ユーザー情報の登録] または [ユーザー情報の追加] の [参照] をクリックし、編集したユーザー情報ファイル（xml 形式）を選択します。

The screenshot shows two sections: 'ユーザー情報の登録' (User Information Registration) and 'ユーザー情報の追加' (User Information Addition). Each section contains a text area with instructions and a '参照...' (Reference...) button highlighted with a red box. Below each section is an 'インポート' (Import) button.

▷ ユーザー情報の登録

ユーザー情報ファイルに記載されている内容で、そのままデータベースを上書きします。削除するデータがある場合、この機能を利用します。

▷ ユーザー情報の追加

ユーザー情報ファイルに記載されていて、自身のデータベースに登録されていない内容のみを登録します。



注記

- ・ [ユーザー情報の登録] を利用する場合は、必ず最新のユーザー情報をエクスポートしてから編集し、登録してください。
- ・ 追加情報だけが記載されたファイルを使用する場合、[ユーザー情報の登録] を使って登録すると、既存のデータは削除されてしまいます。この場合、[ユーザー情報の追加] を利用してください。

- 2 [インポート] をクリックします。



補足

[インポート] をクリックした時点では、親機だけに内容が登録されます。変更内容をすぐに子機に反映するには、[すぐに同期] ボタンをクリックしてください。[すぐに同期] ボタンについては、「ユーザー情報の同期」(P.19) を参照してください。

ユーザー情報の同期

The screenshot shows the 'ユーザー情報の同期' (User Information Synchronization) section. It contains a text area with instructions and a 'すぐに同期' (Synchronize Immediately) button highlighted with a red box.

プラグイン設定画面での変更をすぐに反映させたい場合、[すぐに同期] ボタンをクリックすると、本ツールに登録済みのユーザー情報が本体認証用のデータベースに反映され、すべての子機へのデータ配信が開始されます。



注記

- ・ 配信処理中は、機械の操作パネルがロックされます。
- ・ 事前に機械管理者の認証情報が設定されていないと、[すぐに同期] を実行できません。エラーが発生する場合は、「機械管理者情報の設定」(P.10) を参照して機械管理者の認証情報を設定してください。

- ・[すぐに同期] を実行中に、本キットに登録されている機械の電源を切ったり、ネットワークのエラーなどで通信が切断されたりすると、同期処理が終わらなくなることがあります。このような場合は、機械の電源を入れ直し、[すぐに同期] を再度実行してください。
- ・[すぐに同期] を実行中に、もう一度[すぐに同期] をクリックすると、「複合機との通信にエラーが発生しました。」というエラーメッセージが表示されます。同期処理中は[すぐに同期] を操作しないでください。
- ・子機の操作パネルが何らかの理由でロックできなかった場合は、その子機の本体認証用データベースは更新されません。
 - 誰かが複合機のそばにいて SmartWelcomeEyes が反応している。
 - 複合機の電源が切られている。
 - 複合機の操作パネルを誰かが操作している。誰かが CentreWare Internet Services にログインしている。
- ・複合機を節電モードにすると、操作パネルロックできる可能性が高くなります。

ユーザー情報設定ツールの入力項目

ユーザー情報設定ツールの入力項目は、次のとおりです。

ユーザー ID

ユーザー ID を、半角英数字または記号で、32 文字以内で入力します。この項目は、必ず入力します。同じユーザー ID は重複して登録できません。



補足

次のユーザー ID は使用しないでください。

- ・半角スペースだけのユーザー ID
- ・「"」、 「+」、 「;」、 「<」、 「>」、 「?」、 「[」、 「]」、 「\」、 「{」、 「|」、 「}」、 「:」、 「#」、 「(」、 「)」、 「¥」、 「,」、 「*」、 「/」、 「=」 の記号のうちどれかを含むユーザー ID
- ・「I」で始まるユーザー ID

カード ID

IC カードの ID を、半角英数字または記号で、32 文字以内で入力します。同じカード ID は重複して登録できません。



補足

次のカード ID は使用しないでください。

- ・半角スペースだけのカード ID
- ・「"」、 「+」、 「;」、 「<」、 「>」、 「?」、 「[」、 「]」、 「\」、 「{」、 「|」、 「}」、 「:」、 「#」、 「(」、 「)」 の記号のうちどれかを含むカード ID
- ・「I」で始まるカード ID

パスワード

パスワードを設定する場合は、半角英数字で 4 文字以上 12 文字以内の文字列を入力します。パスワードを設定しない場合は、空白のままにします。



補足

- ・半角スペースだけのパスワードは、入力しないでください。
- ・Step2 でエクスポートした xml ファイルを [インポート] から開いた場合、パスワードを設定していないユーザーを含め、すべてのユーザーの [パスワード] 列には暗号化された文字列が表示されます。
- ・ApeosPort-VII/DocuCentre-VII シリーズからパスワード文字数上限が拡張されましたが、『サーバーレス認証連携キット（本体認証版）』利用時のパスワード入力範囲は、4 ～ 12 文字のままです。

ユーザー名

ユーザー名を、半角 32 文字（全角 10 文字）以内で入力します。空欄にすると、自動的に [ユーザー ID] と同じ値に設定されます。

メールアドレス

メールアドレスを、半角英数字と記号で 128 文字以内で入力します。

権限

ユーザーの権限を、ドロップダウンリストから選択します。[一般ユーザー]、[機械管理者]、および [集計管理者] から選択します。空欄にすると、自動的に [一般ユーザー] に設定されます。



参照

各権限の詳細については、お使いの機械に同梱のマニュアルを参照してください。

コピーの機能制限、プリンターの機能制限、スキャナーの機能制限、ファクスの機能制限 スキャナーの機能制限

各機能の利用権限を、ドロップダウンリストから選択します。どの項目も、空欄にすると、自動的に [制限しない] に設定されます。

環境設定

[環境設定] では、本キットの運用に関する設定を行います。

設定後は、画面の下部にある [新しい設定を適用] をクリックして、設定を反映させてください。



補足

[環境設定] は、親機でだけ表示されます。

IC カード自動登録

コピーの利用権限

IC カードを登録したユーザーのコピーの利用権限の初期値を設定します。初期値では [許可] に設定されています。

プリントの利用権限

IC カードを登録したユーザーのプリントの利用権限の初期値を設定します。初期値では [許可] に設定されています。

スキャンの利用権限

IC カードを登録したユーザーのスキャンの利用権限の初期値を設定します。初期値では [許可] に設定されています。

ファクスの利用権限

IC カードを登録したユーザーのファクスの利用権限の初期値を設定します。初期値では [禁止] に設定されています。

ユーザー情報編集

ユーザー情報編集

表示ユーザー名変更
複合機の操作画面上のユーザー名の表示の可否を設定できます。

☒ 禁止 ☐ 許可

メールアドレス変更
登録されているメールアドレスをユーザーが変更する可否を設定できます。

☒ 禁止 ☐ 許可

ICカード情報削除
登録されているICカードの情報をユーザーが削除する可否を設定できます。

☒ 禁止 ☐ 許可



参照

操作パネルでユーザー情報を編集する手順については、「自分のユーザー情報を編集する」(P.24) を参照してください。

表示ユーザー名変更

機械の操作パネルから自分のユーザー名を変更することを、ユーザーに許可するかどうかを設定します。初期値では、[禁止] に設定されています。

メールアドレス変更

機械の操作パネルから自分のメールアドレスを変更することを、ユーザーに許可するかどうかを設定します。初期値では、[禁止] に設定されています。

ICカード情報削除

機械の操作パネルから自分の IC カード情報を削除することを、ユーザーに許可するかどうかを設定します。初期値では、[禁止] に設定されています。

ユーザー情報の自動配信設定

ユーザー情報を自動配信するための設定をします。

ユーザー情報の自動配信設定

自動配信設定
[する]を選択した場合、ユーザー情報を自動配信します。
[しない]を選択した場合は、[ユーザー情報の登録]から[ユーザー情報の同期]を機械管理者が実行された場合のみ配信します。
電源の切/入などの複合機の再起動による自動配信は行いません。

☐ しない ☒ する

複合機へ反映開始する時刻（24時間制で入力）
登録されている複合機にユーザー情報を反映する時間を指定できます。
指定された時刻以降に変更された場合に反映します。
設定の反映が行われている間は、複合機の操作は使用できません。

20:00

複合機へ反映停止する時刻（24時間制で入力）
登録されている複合機に登録情報を反映/停止する時間を指定できます。

8:00

新しい設定を適用

自動配信設定

親機からユーザー情報を自動配信するかどうかを選択します。

[しない] を選択した場合、機械管理者が [ユーザー情報の登録] 画面で [すぐに同期] を実行するまで、ユーザー情報が配信されません。

複合機へ反映開始する時刻

登録されている子機に、ユーザー情報を反映する時刻を設定します。前回の反映処理よりあとに変更された情報が反映されます。



補足

反映処理には、5 分程度かかります。この間、機械はロックされて利用できません。深夜など、利用者が少ない時間帯を設定してください。

複合機へ反映停止する時刻

反映処理を停止する時刻を設定します。

動作ログ取得について

〔動作ログ取得〕画面は、故障やトラブルが発生したときに、弊社のカスタマーエンジニアが原因を解析するために使用します。通常お客様が使用することはありません。

3 ユーザーの操作（一般ユーザー向け）

ここでは、ユーザーが行う認証の操作や、自分のユーザー情報の編集操作、および IC カードの登録操作について説明します。

認証の手順

IC カードを使用する場合

操作手順

- 1 ユーザー情報が関連づけられている IC カードを IC カードリーダーにかざします。



補足

ユーザー情報が関連づけられていない IC カードをかざすと、[IC カード登録] 画面が表示され、ユーザー情報との関連づけができます。詳しくは、「IC カードを登録する」(P.26) を参照してください。

IC カードを使用しない場合

操作手順

- 1 〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、ユーザー ID を入力します。パスワードを設定している場合は、パスワードも入力します。
- 2 [ログイン] を押します。

自分のユーザー情報を編集する

ユーザー情報変更ツールを利用して、自分のユーザー情報を編集する手順を説明します。



補足

- ・本キットを利用する機器のユーザー情報を変更するときは、ユーザー情報変更ツールを利用してください。機械にログインしてユーザー情報を変更しても、本キットには反映されません。
- ・本書で記載している画面は、お使いの機種によって異なることがあります。

操作手順

- 1 ユーザー ID とパスワードを入力するか、IC カードをかざしてログインします。
- 2 [ユーザー情報変更] を押します。



3 必要な情報を変更します。



補足

一部の機種では、[パスワード変更] タブと [ユーザー情報変更] タブで画面を切り替えて設定します。



注記

半角スペースだけのパスワードは、入力しないでください。

4 [変更を適用] を押します。



補足

- ・ [ユーザー ID] は変更できません。
- ・ [リセット] を押すと、変更は適用されず、変更前の値に戻ります。

ユーザー情報 / パスワードの変更

次の項目を変更できます。

ユーザー名

ユーザー名を変更する場合、新しいユーザー名を入力します。



補足

機械管理者によって禁止されている場合は、変更できません。

メールアドレス

メールアドレスを変更する場合、新しいメールアドレスを入力します。



補足

機械管理者によって禁止されている場合は、変更できません。

カード ID

IC カードが関連付けられている場合、カード ID が表示されます。[カード ID の関連付けの解除] を押すと、関連付けを解除できます。



補足

- ・ 一部の機種では [解除] を押すと、関連付けを解除できます。
- ・ 機械管理者によって禁止されている場合は、解除できません。

現在のパスワード

パスワードを変更する場合、現在のパスワードを入力します。パスワードを設定していない場合は、空白にします。



補足

- ・ パスワードの入力が不要に設定されている場合は、入力できません。
- ・ パスワードを変更しても、自動配信の処理が実行されるか、機械管理者が [ユーザー情報の同期] で [すぐに同期] を実行するまでは、ほかの機器に反映されません。変更したパスワードがグループ内に配信されるまでは、再度パスワードを変更しないようにしてください。

新しいパスワード

パスワードを変更する場合、新しく設定するパスワードを入力します。

新しいパスワードの再入力

確認のため、新しいパスワードを再入力します。

IC カードを登録する

「IC カード登録」機能を利用すると、ユーザー自身が個人の IC カードとユーザー情報を簡単に関連付けできます。

詳細については、『IC カード登録 取扱説明書』の「IC カード登録の使い方（一般ユーザー向け）」を参照してください。

4 エラー対処

本キットをお使いのうえで、トラブルが発生した場合に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

プラグイン設定画面のエラー

メッセージ	対処方法
複合機との通信にエラーが発生しました。 ネットワークが接続されているか、電源が入っているか確認してください。	ネットワークの接続を回復、または機械の電源を投入してから、もう一度実行してください。
インポートするファイルを選択してください。	[参照] をクリックしてインポートするファイルを選択してから、もう一度実行してください。
複合機と接続できません。以下の内容を確認してください。 ・入力した値が正しい。 ・登録された複合機がネットワーク上に存在する。 ・登録された複合機の電源が入っている。	入力内容、ネットワーク接続、および機械の電源を確認してから、もう一度実行してください。
設定変更できません。 [親機] の権限を変える場合は、他の [子機 (代行権限あり)] の中から、[親機] をいずれか1つ指定してください。	次に親機にする子機 (代行権限あり) からプラグイン設定画面を開き、権限を変更してください。
下記の権限が変更できませんでした。 指定された複合機がネットワークにつながっているか、電源が入っているか確認してください。	権限を変更する機械のネットワーク接続を回復、または電源を投入してから、もう一度実行してください。
指定された複合機と接続できません。 指定された複合機にサーバーレス認証連携キットがインストールされているか確認してください。	登録する機械に本キットをインストールしてから、もう一度実行してください。
設定のインポートができませんでした。 ファイルが正しいか確認してください。	インポートするファイルの形式とサイズを確認してから、もう一度実行してください。
下記の複合機との通信にエラーが発生しました。 ネットワークが接続されているか、電源が入っているか確認してください。	表示された機械のネットワーク接続を回復、または電源を投入してから、[すぐに同期] をクリックしてください。
複合機にエラーが発生しています。	エラーが繰り返される場合は、弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。

IC カード登録ツールのエラー

エラーコード	メッセージ	対処方法
011 012 013	認証サーバーから応答がありません。 ネットワーク環境を確認してください。	ネットワーク環境、または機械の通信設定を確認してから、登録し直してください。
101 102 103	Active Directory (R) サーバーへログインできませんでした。	Active Directory の認証情報を確認してから、登録し直してください。
110 202	IC カード登録に失敗しました。	最初から登録し直してください。

エラーコード	メッセージ	対処方法
122	ユーザー ID が正しく入力されていません。 ユーザー ID は半角英数または記号で最小 1 文字、最大 32 文字です。 以下の記号は利用できません。 「"」, 「+」, 「;」, 「<」, 「>」, 「?」, 「[」, 「]」, 「^」, 「{」, 「 」, 「}」	ユーザー ID を確認してから、入力し直してください。
201	本体登録ユーザーとの照合に失敗しました。	ID とパスワードを入力し直してください。
250 251 260 261	IC カード登録に失敗しました。	ネットワークと親機の状態を確認し、もう一度実行してください。
252 262	IC カード登録に失敗しました。	もう一度実行してください。失敗が続く場合は テレフォンセンターへ連絡してください。
253	IC カード登録に失敗しました。	機械管理者に連絡してください。
301	IC カード登録に失敗しました。	次のどれかの可能性があります。 ・パスワードが短すぎる、または長すぎる。 ・ユーザー名が半角 32 文字（全角 10 文字）を超えている。 ・メールアドレスが半角英数字と記号で 128 文字を超えている。 次の内容を確認したあと、最初から登録し直してください。 ・パスワードを 4 ～ 12 文字の範囲で指定する。 パスワードを指定しない場合は空白にする。 ・ユーザー名を、半角 32 文字（全角 10 文字）以内で指定する。 ・メールアドレスを、半角英数字と記号で 128 文字以内で指定する。
302 303 304	IC カード登録に失敗しました。	機械管理者にユーザー情報の削除を依頼し、再度登録してください。
307 308 309	システムエラーが発生しました。再起動してください。 再起動してもエラーが発生する場合はお問い合わせください。	機械を再起動してください。 改善しない場合は、弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。
401	機械管理者の ID とパスワードが正しくありません。	機械管理者に ID とパスワードの再設定を依頼してください。機械管理者に初期設定を依頼してください。
404 500 600	システムエラーが発生しました。再起動してください。 再起動してもエラーが発生する場合はお問い合わせください。	機械を再起動してください。 改善しない場合は、弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。
702	このカードはすでに登録されています。	カードの管理者に、カードの確認を依頼してください。
703	ログインユーザーの情報取得に失敗しました。	最初から登録し直してください。
704	複合機の情報取得に失敗しました。	最初から登録し直してください。
705	ログアウトできませんでした。	認証ボタンを押して、ログアウトしてください。

エラーコード	メッセージ	対処方法
706	初期設定が完了していないため、本機能は使用できません。 管理者に初期設定を依頼してください。	機械管理者に初期設定を依頼してください。
707	システムエラーが発生しました。再起動してください。 再起動してもエラーが発生する場合はお問い合わせください。	機械を再起動してください。 改善しない場合は、弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。
709	システムエラーが発生しました。再起動してください。 再起動してもエラーが発生する場合はお問い合わせください。	機械を再起動してください。 改善しない場合は、弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。
710	認証設定が本体認証以外の場合は、本機能は使用できません。	機械管理者に認証設定の確認を依頼してください。
711	指定されたユーザー ID は登録できません。	ユーザー ID を変更してください。
750	IC カード登録に失敗しました。	既にデータベースに登録されているICカードのため、自動転記が行われるまでお待ちください。
752	IC カード登録に失敗しました。	テレフォンセンターへ連絡してください。
751	IC カード登録に失敗しました。	現在のパスワードを確認し、もう一度実行してください。
801 802	IC カード登録に失敗しました。	弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。
900 ~ 999	システムエラーが発生しました。再起動してください。 再起動してもエラーが発生する場合はお問い合わせください。	機械を再起動してください。 改善しない場合は、弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。

ユーザー情報変更ツールのエラー

エラーコード	メッセージ	対処方法
260 261	ユーザー情報を更新できませんでした。 ネットワーク環境を確認してください。	ネットワークや親機の状態を確認して、もう一度実行してください。
262	ユーザー情報を更新できませんでした。 しばらく待ってから、処理を再度実行してください。	エラーが繰り返される場合は、電話でテレフォンセンターへ連絡してください。
706	初期設定が完了していないため、この機能を使用できません。 機械管理者に初期設定を依頼してください。	機械管理者に初期設定を依頼してください。
750	IC カードが別のユーザー ID で登録済みです。 機械管理者に連絡してください。	機械管理者に連絡して、IC カードの登録を解除してもらってください。
751	パスワードが正しくありません。 [現在のパスワード] が正しくありません。 もう一度 [現在のパスワード] を入力してください。	現在のパスワードを確認し、もう一度実行してください。
752	IC カードを登録できませんでした。	弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店に連絡してください。

エラーコード	メッセージ	対処方法
753	認証設定が本体認証ではないため、この機能を使用できません。 機械管理者に連絡してください。	機械管理者に連絡して、設定を確認してもらってください。
754	ログインユーザーの情報を取得できませんでした。	機械を再起動してください。 改善しない場合は、弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。
801 802	入力したユーザー ID は登録できません。	弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。
901	システムエラーが発生しました。機械を再起動してください。 エラーが繰り返される場合は、機械管理者に連絡してください。	機械を再起動してください。 改善しない場合は、弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。
-	ユーザー ID が正しくありません。 ユーザー ID は、すべて半角英数と記号の場合は最大 32 文字です。 以下の記号は利用できません。 ["], [+], [;], [<], [>], [?], [], [], [], [], [], [], [], []	ユーザー ID を確認してから、入力し直してください。
-	ユーザー名が正しくありません。 ユーザー名は、すべて半角英数と記号の場合は最大 32 文字、すべて全角の場合は最大 10 文字です。	[ユーザー名] の入力内容を確認し、もう一度実行してください。
-	パスワードが正しく入力されていません。 パスワードは半角英数と記号で、4 ～ 12 文字です。	[現在のパスワード] の入力内容を確認し、もう一度実行してください。
-	パスワードが正しくありません。 もう一度パスワードを入力してください。	正しいパスワードを入力し、もう一度実行してください。
-	メールアドレスが正しく入力されていません。 メールアドレスは半角英数と記号で最大 128 文字です。	[メールアドレス] の入力内容を確認し、もう一度実行してください。
-	認証できませんでした。	ユーザー ID とパスワードを入力し直し、もう一度実行してください。
-	システムエラーが発生しました。しばらく待ってから、処理を再度実行してください。 エラーが繰り返される場合は、機械管理者に連絡してください。	しばらく待ってから、もう一度実行してください。改善しない場合は、弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。
-	しばらく待ってから、処理を再度実行してください。	しばらく待ってから、もう一度実行してください。改善しない場合は、弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。
-	定義されていないエラーが発生しました。	弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。
3006 3007 3010 3011 3012 3025	システムエラーが発生しました。再起動してください。 再起動してもエラーが発生する場合はお問い合わせください。	機械を再起動してください。 改善しない場合は、弊社のカスタマーエンジニアにお問い合わせください。
3065	エラーが発生しました。 しばらくしてから、もう一度、やりなおしてください。	しばらく待ってから、もう一度実行してください。

5 バージョンアップについて

Management Console を使用することで本アプリケーションをバージョンアップ（アップデート）できます。

Management Console の対応機種やダウンロードは弊社公式サイトの商品情報のページをご覧ください。

インストール方法および利用方法は、商品情報ページからダウンロードページへ移動し、「ご利用に際して」ページにある「Management Console readme」をご覧ください。



注記

Management Console からバージョンアップするためには予め対象の有償商品がインストールされている必要があります。

6 注意 / 制限事項

本キットの機能を利用するうえでの注意 / 制限事項について説明します。

- 次のユーザー ID は、使用しないでください。
 - 「」（半角スペース）だけのユーザー ID
 - 「"」、"+", ";", "<", ">", "?", "[", "]", "`", "{", "|", "}", ":, "#", "(", ")", "¥", "!", "*", "/", "=", の記号のうちどれかを含むユーザー ID
 - 「'」で始まるユーザー ID
- 本体ユーザーはパスワードを設定しなくても登録できますが、Active Directory ユーザーは必ずパスワードを設定してください。パスワードは、ASCII コードの文字で、4 ～ 12 文字の範囲で設定できます。ただし、IC カード登録で本体に登録したあとは、Active Directory ユーザーもパスワード無しに変更できます。
- 親機、子機グループの機械はすべて同じ桁数でパスワードを設定してください。
- グループに登録する機械は、[認証の設定] > [パスワードの運用] で [パスワードの最小桁数] を「4」に設定してください。
- 親機となる機械は、スリープモードが禁止に設定されます。
- DHCP で自動的に取得した IP アドレスは利用できません。固定 IP アドレスを使用してください。
- 本機能は、IC カード情報としてユーザー ID とは異なるカード ID を使用しているユーザーだけが使用できます。
- IC カード登録を操作中に、メニューボタンなどで設定画面を閉じたり、放置して自動リセットが動作したりした場合は、仮登録ユーザーが残ることがあります。仮登録ユーザーは、登録されたユーザー情報を本体認証用のデータベースに反映するタイミングで、自動的に削除されます。機械管理者が削除する場合は、ユーザー名が「仮登録ユーザー」のユーザーを検索して削除してください。

仮登録ユーザーが認証したままの状態になっている場合は、認証ボタンを押すことで解除できます。



補足

- ・ 仮登録ユーザーとは、IC カード情報自動登録機能（標準機能）を使用して、IC カード情報をユーザー ID として自動登録された状態のユーザーのことです。
- ・ 「仮登録ユーザー」で検索できない場合は、設定が変更されている可能性があります。仮登録ユーザーのユーザー名は、[仕様設定 / 登録] > [認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証情報の設定] の、IC カード情報を自動登録したときの初期値に設定されています。ここで設定されているユーザー名を検索して削除してください。
- 仮登録ユーザーでジョブを実行している間は、IC カードの登録、再登録をしないでください。
- Active Directory サーバーを利用する場合は、Active Directory サーバーに保存された認証情報が複合機本体に複製保存されます。
複合機本体からの情報漏えいを抑止するため、データセキュリティキット（オプション）の導入によるデータの暗号化を推奨します。
- Active Directory サーバーは、ApeosPort シリーズでだけ利用できます。対応していない機種では、Active Directory に関する設定は表示されません。
- 本キットと併用できないサービスや関連商品は次のとおりです。
 - Smart WelcomEyes Advance
 - Smart WelcomEyes Advance 2
 - 指静脈認証

- 本体認証モード以外の運用を前提とする各種サービス
- IC Card Gate 1.0 for FeliCa
- IC Card Gate Pro 1.0



本体に IC カードリーダーを内蔵している機械や、IC Card Gate 2 または IC Card Gate 3 を接続している機械に、それ以外の装置（Coinkit など）を併設すると、操作パネルでの認証操作ができなくなります。

- 本キットを利用する場合、次の集計管理モードを利用できます。
 - [本体集計]：認証用のユーザー ID で集計します。
- 同じユーザー ID で、ほぼ同時に別の IC カードが登録された場合、後から登録された情報が有効になります。
- 退職者の IC カードを再利用する場合は、次のユーザーにカードを渡す前に、機械管理者が該当カードのユーザー情報を本キットのユーザー情報から削除し、[すぐに同期] を実行してください。
- 1 度登録したユーザーを、認証先を変えて再登録することはできません。
- 登録人数が 999 人まで達した状態では、IC カードの登録 / 再登録ができません。
- IC カード登録やユーザー情報変更ツールを利用して変更した情報は、親機のデータベースに登録されたあと、反映開始時刻になると登録を行った子機を含めたすべての子機に、一台ずつ順番に配信されます。このため、接続台数が多くなるほど、すべての子機への配信が完了するまで時間がかかる場合があります。しばらく待っても変更が反映されない場合は、次の操作を実施してください。
 - 親機のプラグイン設定画面の [ユーザー情報の登録] 画面で、[すぐに同期] をクリックする。
 - 上記の操作が有効でない場合、親機のデータベースに変更内容が反映されているか確認する。
- デバイス設定ツールや ApeosWare Management Suite 2 を使用して、ユーザー情報を変更することはできません。
- 機械から IC カードリーダーを取り外すときは、事前に登録されているカード ID の情報を解除してください。

IC カードリーダーを外すと、カード ID の情報を変更できなくなります。
- ユーザー情報ファイルは、ユーザー情報設定ツールで編集してください。テキストエディターなどで直接編集しないでください。
- サーバーレス認証キット（本体認証）を v1.x から v2.0 以降にアップデートしたときは、アップデート後に必ず、親機のユーザー情報をいったんエクスポートし、再度インポートしてください。インポートし直さないと、データが正しく引継がれません。

サーバーレス認証連携キット（本体認証版） 取扱説明書

著作者 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社
発行者 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

発行年月 2021年 6月 第1版

(帳票番号 : ME7827J1-8)